

科目名	生涯発達看護学(母性)			ナンバリング	PEG222	授業形態	講義
対象学年	1 年	開講時期	後期前半	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	久米美代子	担当教員	久米美代子				

授業の概要	看護の対象としての女性をライフサイクル上の連続性においてとらえ、発達段階の特徴と発達課題を明らかにするとともに、健康面に着目した対象の捉え方について学修する。ここでは、女性の生涯について、その健康的特徴を人体の構造と機能のメカニズムや心身発達論に基づいて、論理的・科学的にとらえるとともに、発達段階の特徴から見た健康課題を理解する。また、身近な女性を具体例として、実践的に対象をとらえる視点を明確化し、その健康特性についての理解を深める。						
到達目標	1. ウーマンズヘルスを理解でき、顕著な男女の違いについて説明できる。 2. 女性の特徴を健康科学的視点から捉え、理論的・科学的に説明することができる。 3. 女性の誕生を受胎から老人までの健康面に着目して捉え、発達課題と特徴から見た健康問題を身体的・心理的・社会的側面から理解することができる。 4. 看護の対象としての女性をライフサイクル上の連続性においてとらえ、発達段階の特徴と発達課題を理解し、説明することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	講義で示されるスライドの内容や課題について、自分の言葉で説明できるようになることを目標にして学習に取り組む。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
		2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
		3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
		4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. ウーマンズヘルスを理解でき、顕著な男女の違いについて説明できる。 2. 女性の特徴を健康科学的視点から捉え、理論的・科学的に説明することができる。 3. 女性の誕生を受胎から老人までの健康面に着目して捉え、発達課題と特徴から見た健康問題を身体的・心理的・社会的側面から理解することができる。 4. 看護の対象としての女性をライフサイクル上の連続性においてとらえ、発達段階の特徴と発達課題を理解し、説明することができる。	1. ウーマンズヘルスを多角的な視点から理解し、講義以外の男女の顕著な違いについても説明できる。 2. 女性の特徴を健康科学的視点から捉え、理論的・科学的に説明することができ、その特徴が健康問題の違いへと関連していくことをイメージできる。 3. 女性の誕生を受胎から老人までの健康面に着目して捉え、発達課題と特徴から見た健康問題を身体的・心理的・社会的側面から理解することができ、健康問題に沿った看護ケアの必要性について根拠を持って述べられる。 4. 看護の対象としての女性をライフサイクル上の連続性においてとらえ、発達段階の特徴と発達課題を理解し、発達課題に応じた看護について考えられる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					60%
小テスト・授業内レポート	○						加点はしない 減点となることがある
宿題・授業外レポート	○	○					40%
授業態度・授業への参加			○	○			加点はしない 減点となることがある

課題、評価のフィードバック	期末試験解答用紙や提出したレポートは、学生から要請があったらいつでも開示できるよう準備しておく。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス ウーマンズヘルス	授業のねらい・学び方を説明し、ウーマンズヘルスについて解説する。	
	第2回	女性の特性 女性の誕生	機能形態的な視点や健康科学的な視点からみた女性の特徴について解説する。	
	第3回	女性のライフステージとその特徴①	受胎から老人までの女性のライフステージにあらわれる特徴・変化について解説する。	
	第4回	女性のライフステージとその特徴②	身近な女性を具体例として、身体的・心理的・社会的側面からとらえ、健康特性が理解できるよう解説する。	
	第5回	女性のライフステージとその特徴とヘルスケア①	自分で決めたテーマをもとにグループを構成し、そのワークを通して、女性のライフコースの健康特性に関して3側面から捉えることができる。	
	第6回	女性のライフステージとその特徴とヘルスケア②	グループワーク	
	第7回	女性のライフステージとその特徴とヘルスケア③	グループワークおよび発表	
	第8回	まとめ・試験	看護の対象としての女性をライフサイクル上の連続性においてとらえ、発達段階の特徴と発達課題を理解し、説明することができるよう解説する。	
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
	試験	第8回目に期末試験を実施する。試験範囲は全範囲とする。		
授業の進め方		第1回から第4回までは講義と質疑応答とする。第5回から第6回はグループワークとし、テーマにそって話し合いを行い、第7回はグループワークの発表と質疑応答とする。第8回はまとめと試験にあてる。第1回から第4回までは確認小テストを実施する。		
授業外学習の指示		授業の前にウーマンズヘルスや母性に関する本を読んでおくこと。配布資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず教科書で確認するか教員に質問する。次回の講義に対応する教科書の該当箇所を読み、理解しておく。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	横尾京子他(2017):ナースンググラフィカ母性看護学① 母性看護実践の基本, 大阪府, 株式会社メディカ出版. 森恵美他(2016):系統看護学講座 母性看護学Ⅰ 母性看護学概論, 東京都, 株式会社医学書院. 久米美代子・飯島治之編著(2013):ウーマンズヘルス 女性のライフステージとヘルスケア, 東京都, 医歯薬出版株式会社.
参考書	講義内で適宜、紹介することがある。
参考URLなど	特になし
その他	特になし